



1 おもとさん おおもとじんじゃ 御許山・大元神社

御許山は宇佐市を代表する山。
標高 647m。山頂部には宇佐神宮の奥宮である大元神社があります。
毎年4月29日に例祭が催されます。

約800年前、
平家の平景清が、逃げ延びた日向の地で、眼病に苦しむ人々の
ために自分の目を神様に供え、治癒を祈念したのが生目神社の成り立ちと
言われています。

当神社は約300年前、
日向から分霊させて
もらったものです。



3 いきめじんじゃ 生目神社

毎年、4月の第1日曜日に大祭が催されます。

養老年間(約1300年前)
に仁聞菩薩がこの洞窟で
3年間修行をしたと伝えら
れています。江戸時代に
大字下乙女の長安寺の僧が
川筋33番の観世音を作り、
第6番礼所にしたとの言い
伝えもあります。



5 いわやかんのん いわやさんがんとうじ 岩屋観音(岩屋山岸頭寺)

7 ちょうこうじ 長興寺

臨済宗大徳寺(京都)を
本山とし、開山は室町
時代。約600年の寺歴を
持ちます。裏山にはかつて
矢部氏の居城(丸山城)
があり、今は丸山墓地と
なっており、
宝塔や五輪塔20基ほどがあります。



2 だんごうどう 談合堂

なきわかれとうげ 泣別峠

壇ノ浦の合戦で平家の落人たちが、山地に住むか里に住むかを
談合(相談)した所が「談合堂」(恵良酒店付近)、そして峠で
泣き別れたところから「泣別峠」と呼ばれるようになったということです。

宇佐市指定史跡

4 いち 伊知の墓

貧しくも嫁いだ家の家族の為に
尽くした一人の女性「伊知」。
中津の殿様がその優しさと献身ぶりに
心打たれ、彼女の没後、立派な墓を
建て顕彰しました。



西馬城小学校体育館側



6 しろやま 城山

標高298m。
山頂部には
約600年前に
矢部一帯を治めていた
矢部氏が築いた山城
(龍ヶ鼻城)の石垣や
堀の跡が残っています。

8 いぼ地蔵



江戸時代、近くの村のイケメン
長助どんが顔じゅうイボだらけ
になり、この地蔵にお祈りした
ところ、元のきれいな顔に
戻ったという。
健康長寿と美肌のお地藏様。



カレー屋 ぽから

知る人ぞ知る
本格インドカレーの店
営業 12:00 ~ 20:00
定休は火・水曜日
tel 0978-33-2872
泣別峠の途中で黄色の看板が
あります。



まごころの創作料理
美味しい和食の店

(昼) 11:30 ~ 15:00
(夜) 17:00 ~ 21:00
夜は完全予約制
定休は水曜・木曜日
tel 0978-33-2664

店は県道658号線側
泣別峠のさしかかりにあります。



食事処 ゆう